

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和7年4月9日(2025.4.9)

【公開番号】特開2024-86143(P2024-86143A)

【公開日】令和6年6月27日(2024.6.27)

【年通号数】公開公報(特許)2024-119

【出願番号】特願2022-201118(P2022-201118)

【国際特許分類】

H 0 1 M 5 0 / 5 0 7 (2 0 2 1 . 0 1)

10

H 0 1 M 5 0 / 5 6 9 (2 0 2 1 . 0 1)

H 0 1 M 5 0 / 2 0 4 (2 0 2 1 . 0 1)

H 0 1 M 5 0 / 2 8 4 (2 0 2 1 . 0 1)

H 0 1 M 5 0 / 2 4 2 (2 0 2 1 . 0 1)

H 0 1 M 5 0 / 2 9 8 (2 0 2 1 . 0 1)

H 0 1 M 5 0 / 5 5 (2 0 2 1 . 0 1)

H 0 1 M 5 0 / 5 1 9 (2 0 2 1 . 0 1)

【 F I 】

H 0 1 M 5 0 / 5 0 7

H 0 1 M 5 0 / 5 6 9

20

H 0 1 M 5 0 / 2 0 4 4 0 1 D

H 0 1 M 5 0 / 2 8 4

H 0 1 M 5 0 / 2 4 2

H 0 1 M 5 0 / 2 9 8

H 0 1 M 5 0 / 5 5 1 0 1

H 0 1 M 5 0 / 5 1 9

【手続補正書】

【提出日】令和7年4月1日(2025.4.1)

【手続補正1】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上記の構成とは異なり、配線モジュールは、バスバーと、バスバーに接続される回路基板と、回路基板に接続される電線と、を備えてもよい。回路基板と電線との接続は、例えば、半田付け等により行うことが考えられる。こうした配線モジュールにおいて、回路基板と電線との接続部は、例えば電線に振動あるいは応力が加わった場合に損傷することがありうる。

40